

8月臨時議会・9月議会 コロナ「市独自対策」決定！

8月28日から始まった9月定例市議会は、10月1日閉会しました。

国の交付金を財源とした市独自のコロナ支援策の最終案が提案され、全会一致で可決。また、2019年度決算認定が審議され、日本共産党西宮市議員団は反対しました。

一般質問には佐藤みち子、まつお正秀両議員が立ちました。

総額3兆円の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、各自治体で独自に国の給付金への上乗せのほか、PCR検査の拡充、医療機関や児童福祉施設の職員への慰労金などに、広く活用できます。

本市には約35億5千万円が交付され、8月臨時議会で32億円余、9月議会で約5億8500万円の事業が可決成立しました（執行残も見込んで多めに予算化されています）。その内容を少し紹介します。

PCR検査では

保 健所を通さずかかりつけ医の紹介で検体採取ができる検査センターと、市保健所での臨床検査（結果判定）が8月に始まりました。また、介護、障がいサービス事業所・施設に対する減収補填と感染者が出た際のPCR検査費用の補助や、PCR検査をになう民間医療機関（帰国者・接触者外来）7か所に各500万円の支援などが実施されます。



感染拡大防止では

学 校を含む公共施設のトイレ手洗い場の一部自動水栓化、換気のための網戸設置、避難所となる学校体育館等への換気扇の設置など。

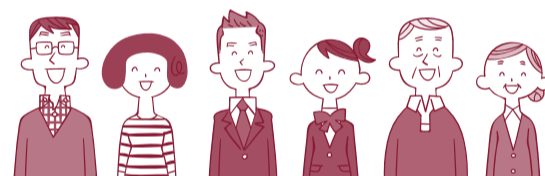


雇用、経済、生活支援では

国 給付金の対象外であった新生児（支給基準日以降年内生まれ）に5万円の給付金を支給。4億円規模の

キャッシュレス決済を活用したポイント還元事業など。

その他、市行政サービスのデジタル化や、手数料のキャッシュレス支払いなども進めています。



387項目の予算要望提出



市長に要望書を手渡すまつお議員(左)

党議員団と党西宮芦屋地区委員会は8月31日、「2021年度西宮市当初予算編成に対する申し入れ書」を市長に提出しました。

当面のコロナ対策を含む市政全般にわたる387項目

について、後日市より文書で回答されます。

また、党議員団は今議会の2019年度決算審査に際し、この申し入れ内容を活かして各分科会で奮闘しました。

今こそ 少人数学級を！



文科省は新年度予算概算要求に公立小中学校での少人数学級実現のための予算を、金額を明示しない「事項要求」として盛り込みました。予算化されるまで予断を許しませんが、これは世論が動かしたものであり画期的です。

西宮市でもこのような動きに押され、教育委員会の考え方にも変化が生じています。今年の6月議会でひぐち議員が20人程度の少人数学級を求めたときは「人数が少なすぎてもよくない。35人程度が適当だと考えている」と答弁していましたが、その後の申入れの場などで「最終的に目指しているところは共産党さんと変わらない」という市長の発言に教育長が同意するなどしています。

市では現在、国のコロナ補正予算で、小6と中3に計17名の教員を加配し、少人数編成ができる取り組みを行っていますが、さらなる拡充を求め続けていきます。

ご相談はお気軽に 議員団控室 ☎0798-35-3368



佐藤みち子

●健康福祉常任委員会
副委員長

☎42-2856



野口あけみ

●幹事長
●議会運営委員
●総務常任委員

☎34-7329



ひぐち光冬

●教育こども常任委員
●広報委員
●社会福祉審議会委員

☎090-7764-0743



まつお正秀

●団長
●民生常任委員
●都市計画審議会
副会長

☎73-0775